

競技注意事項

1. 規則について

2019 年度日本陸上競技連盟競技規則、本競技会要項及び本競技会申し合わせ事項により実施します。

2. 待機場所について

- 参加者待機場所として、第 2 むさしのホール 1 階を 9 時 30 分から 20 時 00 分まで開放します。
- 第 2 むさしのホール 1 階内に総合案内の窓口を設置します。
- 競技会に関するすべての質問等は、総合案内にお問い合わせください。

3. 競技場の使用について

- 1) 競技場は全天候舗装です。全天候舗装用のスパイクピンを使用してください。
- 2) トラック内側の人工芝への立ち入りはご遠慮ください。
- 3) ウォーミングアップは、キャンパスマップに示す場所で行なってください。ただし、トラックは、当該エリアを使用する種目を実施しているときは、使用できません。
- 4) 自転車は、駐輪可能スペース以外には駐輪しないようにお願いします。
- 5) 関係のない施設等への立ち入りはご遠慮ください。

4. ナンバーカードについて

ナンバーカードは次の仕様で各自作成し、胸と背に確実につけてください。

地 色	白
大 き さ	横 22 cm~24 cm × 縦 18 cm~20 cm
数 字	・ 基本はエントリーリストの番号 ・ 10000m のみリストのオーダーの数字 (腰ナンバー標識と同じ数字)
数字の色	黒

なお、数字は競技中に競技役員に見やすいように太くはっきりと書いてください。

また、跳躍種目の競技中は胸または背のどちらか一方で構いません。

5. 招集について

- 1) 招集所は、グラウンド入り口に設置します。
- 2) 招集開始・完了時刻は、競技日程記載のとおりです。競技者本人以外の点呼は認められません。ただし、2 種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、予め、本人または代理人が招集所に申し出てください。
- 3) トラック種目に出場する方は招集時に腰ナンバー標識を受け取り、ランニングパンツ・タイツ等の右側につけてください。腰ナンバー標識はフィニッシュ付近で回収します。
- 4) やむを得ず競技に参加しない (欠場する) ときは、事前に招集所に申し出てください。

6. 競技について

- 1) スターターの合図は、英語 (“On your marks.” “Set.”) で行います。
- 2) 800m はスタートリストのレーン表記にかかわらず、1 つのレーンに 2 名の競技者が並んでスタートすることがあります。また、2 名でのスタートを回避するために、欠場者がいた場合は、空きレーンからスタートすることもあります。スタート時のレーンは、競技役員の指示に従ってください。
- 3) 計時は、写真判定システムを用いて行います。
- 4) 走幅跳、三段跳、砲丸投の試技数は 3 回です。なお、上位 8 名の競技者はさらに 3 回の試技を行うことができます。
- 5) 走高跳のバーの上げ方は次のとおりです。

種目	練習の高さ	競技の高さ
男子走高跳	任意の高さ	1m70 1m75 1m80 1m85 1m90 1m95 2m00 以降 3 cm ずつ
女子走高跳	任意の高さ	1m15 1m20 1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m50 1m55 1m60 以降 3 cm ずつ
男子棒高跳	任意の高さ	3m80 4m00 4m20 以降 10 cm ずつ

- 6) 5000m 及び 10000m は給水を行います。
- 7) 競技の結果は、アナウンスで発表する他に、第2むさしのホール1階に掲示します。
- 8) トラック種目は、棄権の都合により招集後に複数の組をまとめて番組編成をし直すことがあります。その場合、プログラム記載のレーンから変更になることがあります。変更後の腰ナンバーはスタート地点で配布します。

7. その他

- 1) 記録証明書は総合案内で発行します（1部200円）。
- 2) プログラムは総合案内で販売します（1部300円）。
- 3) 競技中に発生した傷病については、主催者側で応急処置を行います。その後の責任は負いかねます。なお日本学生陸上競技連合普通会員はスポーツ安全保険に加入しているため、補償の対象となる場合があります。必要な方は各自でレクリエーション傷害保険等に加入してください。
- 4) 荷物は責任を持って管理してください。万が一盗難・紛失があっても、主催者側が責任をとることはありません。